

## 整形外科学：変形性関節症

39-082 変形性膝関節症患者への生活指導で適切でないのはどれか。

1. 水泳
  2. ジョギング
  3. 体重のコントロール
  4. 重量物運搬の回避
  5. 椅子使用などの洋式生活
- 運動は膝に体重をかけない状態で行う。  
肥満があれば、やせることで月膝への負担が減る。  
カートやワゴンはよく使う。  
和式生活は膝へのストレスが大きい。

39-84 正しいのはどれか。

1. 変形性肘関節症では前腕の回内制限が著しい。
  2. 変形性膝関節症は男性に多い。40歳以上の女性に多い。
  3. 変形性股関節症の多くは一次性的である。二次性的である。
  4. 変形性頸椎症は第3, 4頸椎に生じやすい。
  5. 腰椎変形性後弯症は女性の農業従事者に多い。
- 伸展  
変形性股関節形成不全や臼蓋形成不全、  
ヘルニア病変などが原因となることが多い。  
5~6

40-089 変形性股関節症で誤っているのはどれか。

1. 日本では二次性が多い。
  2. 血沈値が上昇する。
  3. 歩き始めに疼痛が出現する。
  4. 関節裂隙が狭小化する。
  5. 股関節外転が制限される。
- 炎症性の疾患では上昇するが、変形性関節症では上昇しない。  
初期では長く歩くと疼痛が出現する。進行すると安静時の疼痛もみられる。  
関節軟骨がすり減るため、狭小化する。

(内旋、屈曲、伸展)

42-067 変形性膝関節症で正しいのはどれか。

2つ選べ。

1. 中年期以降の肥満女性に好発する。
  2. 頻度は変形性股関節症より低い。
  3. 起立動作時よりも歩行時に痛みが強い。
  4. 進行すると膝外反変形を生じやすい。
  5. エックス線写真で関節裂隙の狭小化がみられる。
- 高い。変形性関節症の中では膝関節症が最も多い。  
内反。変形性膝関節症では膝の内反変形(O脚)、  
屈曲変形、胫骨の外旋変形がみられる。

43-081 変形性膝関節症で誤っているのはどれか。

1. 中高年の女性に多い。
2. 日本人では内反型が多い。
3. 動き始めの疼痛が特徴である。
4. 明らかな原因のない一次性的が多い。
5. 進行すると脛骨が大腿に対して内旋変形する。

○変形性関節症

・進行変性による関節の変形  
すりへり

・関節軟骨の破壊と磨耗による  
関節裂隙の狭小化  
・荷重部の臺脚形成と骨硬化  
(骨表面に穴があく)

・骨棘形成

・変形性膝関節症が最も多い。  
他、股、椎骨、肘、手指にも  
おこる。

46-A-086 変形性膝関節症で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 二次性が多い。
2. 女性よりも男性に好発する。
3. 外反変形を生じやすい。
4. 運動開始時に疼痛がある。
5. 大腿四頭筋の萎縮を認める。

→治療として大腿四頭筋の  
筋力強化が有効である。

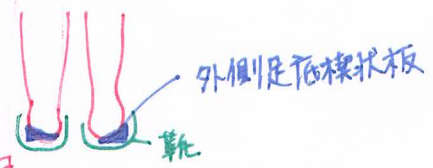
46-P-075 変形性関節症の病理学的変化はどれか。

1. 関節軟骨の破壊
2. アミロイドの沈着 - アミロイドーシスで見られる
3. 尿酸塩結晶の沈着 - 高尿酸血症(痛風)で見られる
4. ピロリン酸カルシウムの沈着 - 偽痛風で見られる。
5. Langhans (ラングハンス) 巨細胞の出現 - 結核などで見られる。

48-A-088 変形性膝関節症で正しいのはどれか。

1. 外側型が多い。 **内側型(膝の内側の障害)**
2. 歩き始めは痛くない。 **歩き始め・立ち上り時ほど動作開始時の疼痛が特徴**
3. 女性よりも男性に多い。 **中年以降の肥満女性に多い。**
4. 膝周囲筋の筋力強化は症状を改善させる。 **大腿四頭筋の筋力強化は有効である。**
5. 内側型には内側が高い楔状足底板が用いられる。

**外側**



50-A-089 変形性関節症について正しいのはどれか。

1. 若年者に好発する。 **中年以降に好発**
2. 滑膜炎から軟骨の変性に至る。 **からおこる。滑膜炎からおこるのは1/3未満である。**
3. 股関節では二次性関節症が多い。
4. 膝関節では女性に比べ男性の有病率が高い。
5. 発症要因として遺伝的素因は認められない。 **る。体型などが関与する。**

### 変形性股関節症

- ・ 先天性股関節形成不全、臼蓋形成不全、H-ILTS病など= 発症する二次性が多い。
- ・ 更年期以降の女性に多い。
- ・ 初期には長く歩いた後などの疼痛。
- ・ 股関節の外転、内旋、屈曲、伸展制限

### 変形性膝関節症

- ・ 一次性が多い
- ・ 中年以降の肥満女性に多い。
- ・ 立ち上り時、歩き始めなど動作開始時の疼痛。
- ・ 膝の内反、屈曲変形、脛骨の外旋変形。
- ・ 負荷
- ・ 体重をかけた状態での運動、大腿四頭筋筋力up
- ・ 外側足底楔状板